

ベロア調素材は先月号で紹介したモール糸と同様に冬物衣料に使用されることが多く、パイルの脱落や色相の変化などが生じやすい素材でもあります。今回は、ベロア調素材のパイルの脱落を紹介します。

素材特性に注意

着用・保管取扱いに注意

監修／クリーニング総合研究所

衣類の状態

スーツのスカートの前側左右腰付近のパイルが、よこ方向の筋状に脱落し、基布が露出している。

利用者がクリーニングから返却された後に確認したところ、パイルが消失していることに気づき、申し出があったもの。いつの時点で生じたものかは分からない。

事故の防止対策

と推定され、クリーニングにより拡大した可能性が考えられる。

パイル織物の製造に関しては、摩擦などの物理的作用に対して十分な強度を持たせることが望まれる。また、パイルの形状にはW型とV型があり、脱落の生じにくいW型の素材を使用することが望ましい。

原因

着用により繰り返される物理的な作用でパイルが脱落したものと推定される。

クリーニングでの受付時には、裾まわりやポケット口の他、特にズボンでは膝裏、上着では衿まわりや衿先、袖口などで着用で摩擦を受けやすい部分のパイルの状態を十分に点検する。

それと共に、利用者にはクリーニング処理によりパイルが脱落する可能性のあることを説明し、了解を得た上で処理することが望まれる。クリーニング処理後、返却前の点検等で変化を確認した場合、直ちに利用者に連絡し、対応を協議すること。

それと共に、利用者にはクリーニング処理によりパイルが脱落する可能性のあることを説明し、了解を得た上で処理することが望まれる。

- **パイル織物**：たて糸やよこ糸で布地の片面にパイルを作り、それをカットして毛羽立たせたもの
- **パイル編物**：パイル編のパイルをカットして毛羽立たせたもの
- **フロック加工布**：織物や編物の上に接着剤を塗布し、毛羽を電氣的に植毛したもの

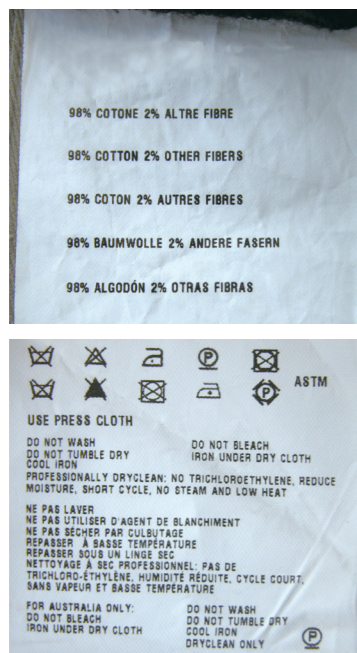
今回の事故品に使われているベロア調素材は、よこ糸でパイルを作るよこパイル織物に該当する。同じよこパイル織物のコーデュロイは、たて方向に敵ができるのが特徴で、カジュアル衣料に使われていることが多い。

ベロア

元々は、紡毛織物の表面を毛羽立たせるベロア仕上げのこと。

「ベロア調素材」は、このベロア仕上げを似せて作られたもので、現在では次のような素材も含めて「ベロア」と呼んでいる。

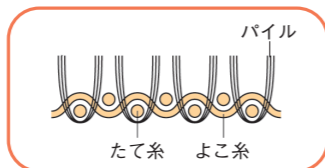
一方、ドレスやコート、装飾品などに使われるベルベットは、たてパイル織物の代表で、光沢が強いのが特徴。繊維素材としては絹、ポリエステル、レーヨン、綿などが使用される。



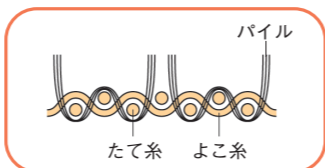
海外表示



前側の両腰付近のパイルが脱落し、基布が露出している



V型のパイル



W型のパイル



ベロア調素材のスカート

●「衣料管理情報」は全ク連ホームページからPDFをダウンロードいただけます。全ク連HP <https://www.zenkuren.or.jp> 「お知らせ」→「衣料管理情報」